

よくある質問

Oracle Audit Vault and Database Firewall

Oracle Audit Vault and Database Firewall (Oracle AVDF) は、データベース、オペレーティング・システム、およびディレクトリのデータベース・アクティビティ監視イベントと監査データを統合する場合に役立ちます。

Oracle AVDFデプロイメント

Q: メディア・パックはどこでダウンロードできますか。

A: Oracle Audit Vault and Database Firewall 12.2は、Oracle Software Delivery Cloudからダウンロードできます。

<https://edelivery.oracle.com>に移動します。

次の製品パックを選択します：

Oracle Database with Platform：Linux x86-64

Q: どのタイプのハードウェア・プラットフォームを使用できますか。

A: Oracle Linux for x86-64 Release 6 Update 6をサポートしているハードウェアであればどれもOracle Audit Vault and Database Firewallサーバー・コンポーネントのデプロイに使用できます。認定ハードウェアの一覧は、<https://linux.oracle.com/hardware.html>をご覧ください。

Q: ソフトウェア・アプライアンスのインストールの仕組みを教えてください。

A: Oracle Audit Vault and Database Firewallはソフトウェア・アプライアンスとしてパッケージされています。つまり、オペレーティング・システムを含め、まったく何もインストールされていないハードウェアへの製品のインストールに必要なものすべてが含まれています。このアプライアンスはインストール中、ハードウェアを完全に支配し、ディスクの再パーティションと再フォーマット、基本OS (Oracle Linux 6.6)、ユーザースペース・ライブラリ、Oracle Database、Oracle Audit

Vault and Database Firewallなどのインストールを行います。また、すべてのソフトウェア (OS、ネットワーク、データベースなど) の構成がほぼ自動的に行われ、ユーザーによる操作は最小限で済みます。

Q: Database Firewallではどのネットワーク・カードを使用できますか。

A: Oracle Audit Vault and Database Firewallでは、Oracle Linux 6 Release 6で標準的にサポートされているすべてのネットワーク・カードを使用できます。Database Firewallをインラインでデプロイするときは、バイパス付きネットワーク・インタフェース・カードを使用して、ハードウェアで障害が発生した場合に、SQLトラフィックが途切れることなくデータベースに運ばれるようにすることが望ましい場合があります。

AVDF BP5では次のバイパス・ネットワーク・カードがサポートされています。

Copper 10/100/1000

- Interface Masters Niagara 32264

Fiber 10/100/1000 (SXおよびLX) (PCI-x)

- Interface Masters Niagara 2282 (Dual)
- Interface Masters Niagara 2283 (Quad)

Fiber 10/100/1000 (SXおよびLX) (PCI-e)

- Interface Masters Niagara 2285 (Dual)
- Interface Masters Niagara 2284 (Quad)

Fiber 10G (PCI-E)

- Interface Masters Niagara 32710 (Dual)

Q: この製品をWindowsにデプロイできますか。

A: Oracle Audit Vault and Database Firewallは、ベア・メタル上のみデプロイできます。Windowsなどのオペレーティング・システムがあらかじめインストールされているホストには展開できません。ただし、Oracle Audit Vault Agentは、Linux/x86-64やWindows/x86-64、Solaris/SPARC64、Solaris/x86-64、AIX/POWER64などのオペレーティング・システムで実行可能なシステム上に展開できます。サポート対象プラットフォームの完全なリストについては、製品のドキュメントを参照してください。

Q: Oracle Virtual Machineを使用して実行できますか。

A: Oracle Audit Vault and Database FirewallはOracle Virtual Machineでも実行可能ですが推奨いたしません。テストやコンセプトの証明が目的である場合は、物理サーバー1台上の2つのOracle VMでOracle Audit Vault and Database Firewallを実行することも可能です。しかし、本番環境用のデプロイメントでは、Oracle Audit Vault and Database Firewallは専用物理サーバー2台にインストールする必要があります。

Q: 必要なハードウェアを教えてください。

A: Oracle Audit Vault and Database Firewallは、リポジトリ (Audit Vault Server) とDatabase Firewallの2つの主要コンポーネントから構成されています。Audit Vault Serverは、1つ以上のDatabase Firewallの中央リポジトリまたはこれを一元管理するマネージャとして機能します。1つのAudit Vault Serverは1つ以上のDatabase Firewallとデータをやり取り、Firewallから得た情報を統合します。また、Audit Vault Serverは、バックエンド・データベースから得た監査データも統合します。Database Firewallは専用サーバーでもあります。ネットワーク・トポロジでのデプロイメントによっては、1つのDatabase Firewallで何百ものデータベースを監視できます。

Q: Oracle Database Applianceを使用できますか。

A: できません。現時点では、Oracle Audit Vault and Database FirewallはOracle Database Applianceではサーティファイされていません。

Q: ストレージはどのくらい必要ですか。

A: Audit Vault and Database Firewallで必要とされる最小ディスク領域は250 GBですが、正確な要件は収集されるデータの量と保存方針によって異なります。

Q: エージェントのダウンロード方法とデプロイ方法を教えてください。

A: Oracle Audit Vault and Database Firewall 12.2では、agent.jarという1つのエージェント・ファイルがあります。このファイルは、ホストやホストが実行されているプラットフォームに関係なく同じです。エージェントは、ダウンロード元のAudit Vault Serverリポジトリにリンクされています。また、64ビットOSでのみ実行が可能で、64ビットJREを必要とします。ただし、32ビット環境で稼働するデータベースにリモートで接続して、監査に使用することはできません。

Q: 現在の製品からアップグレードするにはどうすればいいですか。

A: Oracle Audit Vault and Database Firewall 12.2のインストールDVDを挿入してアップグレード・スクリプトを実行すれば、12.1.xのインストールをインプレースで新しい12.2バージョンにアップグレードできます。現在のところ、レガシー・リリースであるOracle Audit Vault 10.3またはOracle Database Firewall 5.2から12.2への直接的なアップグレード/移行パスはありません。しかし、将来、既存のOracle Audit Vaultリポジトリから最新の12.2製品へのデータの移動を支援する移行スクリプトを提供する計画があります。それまでの間は、既存のデータベースに対し、既存のOracle Audit VaultインストールとDatabase Firewallインストールの実行を続けることをお勧めします。Oracle Database Firewall 5.xのPremier Supportは2016年1月まで、Oracle Audit Vault 10.3のPremier Supportは2016年12月まで継続します。次のWebページを参照してください。

<http://www.oracle.com/us/support/library/lifetime-support-technology-069183.pdf>

Q: カスタマイズしたレポートを10.3から12.2に移行できますか。

A: 複数の監査ソース・タイプをサポートするように新しい製品を強化したため、スキーマが変更されました。したがって、既存のOracle BI Publisherレポートは更新が必要です。

Q: ホストの監視はサポートされていますか。

A: Oracle Audit Vault and Database Firewall 12.2は、Linux、Windows、Solaris SPARC、およびSolaris x64プラットフォームでのホスト監視をサポートしています。将来的には、AIX、HP-UXなどのプラットフォームもサポートする予定です。

Q: アプリケーションからカスタム監査データを統合できますか。

A: Oracle Audit Vault and Database Firewallには、事前にパッケージ化されたいくつかの収集プラグインが同梱されています。これらは、さまざまなタイプのセキュアな定義済みターゲット・システムから監査データにアクセスし、解釈する方法を把握しているソフトウェア・プログラムです。収集プラグインはそれぞれ、特定タイプのセキュアなターゲットから得られた特定タイプの証跡（ファイル・システムのディレクトリ、またはデータベースの表名）に固有のものです。オラクルはお客様やパートナーに、独自に必要な監査証跡を収集し、解析するカスタム・プラグインの構築をお勧めしています。詳細については、『Oracle Audit Vault and Database Firewall 開発者ガイド』（http://docs.oracle.com/cd/E37100_01/doc.121/e27779.pdf）を参照してください。

Q: 転送のセキュリティにはどのプロトコルが使用されますか。

A: Oracle Audit Vault ServerからDatabase FirewallまたはOracle Audit Vault AgentへはHTTPS（ポート443）、Database FirewallからAudit Vault Serverへは追加のSSL over TCP/IP（ポート1514）通信チャネルを使用します。Oracle Audit Vault ServerとOracle Audit Vault Agentの間では、Oracle Advanced Security（SSLまたはネイティブ）を使用します。

Q: 期限切れになったAVADMINのパスワードをリセットするにはどうすればいいですか

A: AVADMINは標準データベース・ユーザーです。パスワードの変更方法は、他のデータベース・ユーザーと同じです。'ALTER USER'コマンドを実行できるものであれば、SQL*Plus、Oracle Enterprise Managerなど、どのデータベース・クライアントでも使用できます。

Q: テスト環境から本番環境にポリシーをエクスポートできますか。

A: いいえ。現在のところ、インポート/エクスポート機能はありません。将来のリリースでは、このリクエストに対応する計画です。

Q: アプライアンスのバックアップ方法を教えてください。

A: リリース12.2以降、Audit Vault Serverのバックアップ・ツールが製品に付属するようになりました。手順と使用方法については、製品のドキュメントを参照してください。

Q: Oracle Universityにトレーニング・クラスはありますか。

A: Oracle Universityは、Oracle Audit Vault and Database Firewall製品の12.1バージョンの正式なクラスを開設しました。この教材のほとんどが、新しい12.2バージョンにも関連します。オラクルはOracle Universityと協力して、新しいOracle Audit Vault and Database Firewall Release 12.2の固有の内容を追加し、コース内容を更新しています。クラスに興味がある場合は、1.800.529.0165にご連絡いただくか、最寄りのオラクル代理店にお問い合わせください。

Q: 外部にディスカッション・フォーラムはありますか。

A: はい。Oracle Audit Vault and Database Firewallフォーラムは、OTNのデータベース・セキュリティ・カテゴリにあります。ディスカッションへの参加や質問をご希望の場合は、<https://forums.oracle.com/forums/forum.jspa?forumID=1420>を参照してください。

Q: 高可用性について教えてください。

A: HA展開についての説明は『Oracle Audit Vault and Database Firewall管理者ガイド』に記載されています。

Q: この製品について、さらに詳しく学習するにはどうすればいいですか。

A: 製品のドキュメントについては、

http://docs.oracle.com/cd/E37100_01/index.htm にアクセスしてください。また、ホワイト・ペーパー、データ・シートなどの資料については、Oracle Products and Services の Web サイトの Oracle Audit Vault and Database Firewallを参照してください。または、<http://www.oracle.com/corporate/contact/index.html> をご覧の上、オラクルの担当者にお問い合わせください。

Oracle Corporation, World Headquarters
500 Oracle Parkway
Redwood Shores, CA 94065, USA


海外からのお問い合わせ窓口
電話：+1.650.506.7000
ファクシミリ：+1.650.506.7200

CONNECT WITH US

 blogs.oracle.com/oracle

 facebook.com/oracle

 twitter.com/oracle

 oracle.com

Integrated Cloud Applications & Platform Services

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. 本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載される内容は予告なく変更されることがあります。本文書は、その内容に誤りがないことを保証するものではなく、また、口頭による明示的保証や法律による黙示的保証を含め、商品性ないし特定目的適合性に関する黙示的保証および条件などのいかなる保証および条件も提供するものではありません。オラクルは本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクルの書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

Oracle および Java は Oracle およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

Intel および Intel Xeon は Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC 商標はライセンスに基づいて使用される SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMD ロゴおよび AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices の商標または登録商標です。UNIX は、The Open Group の登録商標です。0318